

精神医学

著書

- 1) 宮岡剛: 統合失調症圏障害. 山口徹他総編集: 今日の治療指針 2008年版, 医学書院, 東京, pp734, 2008
- 2) 堀口淳: 過眠症(ナルコレプシーを含む). 山口徹他総編集: 今日の治療指針 2008年版, 医学書院, 東京, pp748, 2008
- 3) 堀口淳: (一部監修). レストレスレッグス症候群(RLS) だからどうしても脚を動かしたい. 第1版. アルタ出版株式会社, 東京, 2008
- 4) 堀口淳: 胃ガンが脚に転移?. レストレスレッグス症候群(RLS)だからどうしても脚を動かしたい. 第1版. アルタ出版株式会社, 東京, pp42, 2008
- 5) 堀口淳: 統合失調症の薬物療法 100のQ&A. 初版. 株式会社星和書店, 東京, pp259-266, 2008
- 6) 西田朗, 堀口淳: 専門医のための精神科臨床リュミエール 6 双極性障害 (5. 物質依存とのコモビディティ). 株式会社中山書店, 東京, pp99-105, 2008

学術論文

- 1) Miyaoka T, Yasukawa R, Yasuda H, Hayashida M, Inagaki T, Horiguchi J. : Possible antipsychotic effects of minocycline in patients with schizophrenia. Progress in Neuro-Psychopharmacology and Biological Psychiatry. 30;31(1): 304-307, 2007
- 2) 稲見康司, 新野秀人, 堀口淳: (特集 不眠症 Common diseaseの病態と心身への影響 不眠を呈すことの多い精神身体疾患)認知症における不眠. カレントセラピー 25(1): 30-33, 2007
- 3) 稲見康司, 新野秀人, 堀口淳: (特集 日常臨床で押さえておきたい睡眠障害の知識)せん妄の病態と診断・治療. 治療 89(1)別冊: 129-134, 2007
- 4) 小割健太郎, 三原卓巳, 川向哲也, 河野公範, 宮岡剛, 新野秀人, 稲垣卓司, 堀口淳: 誤嚥性肺炎の合併のために診断・治療に苦慮した悪性緊張病の1例. 精神科 10(1): 85-89, 2007
- 5) Inagaki T, Miyaoka T, Shinno H, Horiguchi J, Matsuda S, Yoshikawa H : Treatment of temporomandibular pain with a selective serotonin reuptake inhibitor (paroxetinehydrochloride). Primary Care Companion Journal Clinical Psychiatry 9(1): 69-70, 2007
- 6) 渡邊克俊, 江藤剛, 堀口淳: ここが知りたい他科知識 入院中の管理のポイント 高齢認知症入院患者への対応は? JOHNS 23(3): 286-288, 2007
- 7) 堀口淳: 臨床睡眠医学の最近の進歩. 島根医学 27(1): 1-5, 2007

- 8) Matsumoto T, Mizuno S, Tsukada J, Inami Y, Horiguchi J: Effect of Risperidone of Polysomnography in Healthy Subjects. *Sleep and Biological Rhythms* 5 (2): 146-148, 2007
- 9) 古屋智英, 國重和彦, 堀口淳: 抑肝散の投与で幻覚が消失したレビー小体病の3症例. *精神医学* 49(4): 417-420, 2007
- 10) 宮岡剛: 統合失調症とビリルビン代謝障害. *精神神経学雑誌* 109(4): 305-312, 2007
- 11) 稲垣卓司, 和気玲: 不登校生徒の通信制高校適応状況の検討. *児童青年期精神医学とその近接領域* 48(2): 155-160, 2007
- 12) 稲垣卓司, 新野秀人, 宮岡剛, 岡崎四方, 安田英彰, 堀口淳: 単科精神病院におけるがんを合併する統合失調症患者状況について. *総合病院精神医学* 19(2): 227-230, 2007
- 13) Shinno H, Matsuoka T, Yamamoto O, Noma Y, Hikasa S, Takebayashi S, Horiguchi J: Successful treatment with quetiapine for delirium in terminally ill cancer patients. *Psychogeriatrics* 7: 64-68, 2007
- 14) 宮岡剛: 統合失調症とビリルビン代謝との関連についての研究. *臨床薬理の進歩* 105-109, 2007
- 15) 稲垣卓司: [特集]透析室における精神症状と行動異常:からだの不調を繰り返し訴える. *臨床透析* 23(6): 32-33, 2007
- 16) 稲垣卓司: [特集]透析室における精神症状と行動異常:痛みの訴えがとても強い. *臨床透析* 23(6): 34-35, 2007
- 17) 稲垣卓司: [特集]透析室における精神症状と行動異常:脚がむずむずして眠れない. *臨床透析* 23(6): 36-37, 2007
- 18) 宮岡剛: [精神医学の動向~海外文献紹介]慢性統合失調症症例に対する非定型抗精神病薬への donepezil 追加の効果に関する検討;二重盲検 donepezil - プラセボ, クロスオーバー試験. *Schizophrenia-Frontier* 8(3): 219, 2007
- 19) 宮岡剛: [精神医学の動向~海外文献紹介]統合失調症入院患者における病棟内気温と精神症状重症度の有意な相関. *Schizophrenia-Frontier* 8(3): 219-220, 2007
- 20) 宮岡剛: [精神医学の動向~海外文献紹介]NSAID と精神病発症のリスクと関係. *Schizophrenia-Frontier* 8(3): 220, 2007
- 21) Shinno H, Inagaki T, Miyaoka T, Okazaki S, Kawamukai T, Utani E, Inami Y, Horiguchi J: A decrease in N-acetylaspartate and an increase in myoinositol in the anterior cingulate gyrus are associated with behavioral and psychological symptoms in Alzheimer's disease. *Journal of the Neurological Sciences* 260(1-2):132-138, 2007

- 22) 稲垣卓司, 岡崎四方, 安田英彰, 宮岡剛, 堀口淳: 摂食障害の治療における小児科と精神科の連携 コンサルテーション・リエゾン の経験から . 総合病院精神医学 19(3):325-331, 2007
- 23) Shinno H, Utani E, Okazaki S, Kawamukai T, Yasuda H, Inagaki T, Inami Y, Horiguchi J: Successful treatment with Yi-Gan San for psychosis and sleep disturbance in a patient with dementia with Lewy bodies. Progress in Neuro-Psychopharmacology & Biological Psychiatry 31(7):1543-1545, 2007
- 24) Yasukawa R, Miyaoka T, Yasuda H, Hayashida M, Inagaki T, Horiguchi J: Increased urinary excretion of biopyrrins, oxidative metabolites of bilirubin in patients with schizophrenia. Psychiatry Research 153 (2) : 203-207, 2007
- 25) 水野創一, 堀口淳: 【プライマリケアにおけるうつ病診療の実際】 各科臨床におけるうつ病診療 睡眠障害. Progress in Medicine 27(9): 2059-2062, 2007
- 26) Hideaki Yasuda, Tsuyoshi Miyaoka, Jun Horiguchi, Yoshiharu Yamamoto: Central cross-modal stochastic resonance in human tactile blink reflex. 19th International Conference on Noise and Fluctuations (ICNF): 545-548, 2007
- 27) 堀口淳: (実践・高齢者と漢方 トピックス)認知症・薬剤性神経症と漢方 幅広い効果を持つ抑肝散に注目. Nikkei Medical 別冊付録 479: 22-23, 2007
- 28) 堀口淳: 運動障害に起因する不眠. 日経メディカル 特別編集版: 24-25, 2007
- 29) 西田朗, 土江景子, 堀口淳, 奥田桂子, 渡邊義文: 喫煙者へのインターネットによる意識調査. 日本医事新報 別(4365): 69-73, 2007
- 30) 稲垣卓司, 岡崎四方, 安田英彰, 宮岡剛, 堀口淳: 小児科とのコンサルテーション・リエゾン精神医療. 総合病院精神医学 20(1): 6-11, 2008
- 31) Miyaoka T, Furuya M, Yasuda H, Hayashida M, Inagaki T, Horiguchi J: Yi-gan san for the treatment of borderline personality disorder: An open-label study. Progress in Neuro-Psychopharmacology & Biological Psychiatry 32(1): 150-154, 2008
- 32) 太根伸浩, 堀口淳, 大平明弘: 自宅介護中の認知症患者による自傷性感感染性眼球損傷の症例. 眼科臨床紀要 1(2): 103-107, 2008
- 33) 堀口淳: 周期性四肢運動障害は睡眠障害である！ 見逃してはならない脚のピクツキと悪い寝相 (第103回日本精神神経学会総会シンポジウム: 精神科一般診療で遭遇する睡眠障害とその対応). 精神神経学雑誌 110(2): 90-93, 2008
- 34) 堀口淳: 睡眠覚醒障害の概念と病態の理解 (第103回日本精神神経学会総会専門医のための特別講座). 精神神経学雑誌 110(2): 125-133, 2008
- 35) 宮岡剛, 西田朗, 堀口淳: 境界性人格障害と抑肝散. Geriatric Medicine (老年医学) 46(3): 239-242, 2008
- 36) Yasuda H, Miyaoka T, Horiguchi J, Yasuda A, Hanggi P, Yamamoto Y: Novel class

- of neural stochastic resonance and error-free information transfer. *Physical Review Letters* 100(11): 118103-1-118103-4, 2008
- 37) 稲見康司, 長濱道治, 河野公範, 堀口淳: レム睡眠行動障害. *精神科* 12(3): 196-200, 2008
- 38) 塚田淳也, 稲見康司, 西村良二, 堀口淳: 高齢者における睡眠の変化と睡眠障害. *日本臨床* 66 増(2): 430-435, 2008
- 39) 稲見康司, 塚田淳也, 水野創一, 山下英尚, 堀口淳: 睡眠時随伴症群 (Parasomnias) そのほかの睡眠時随伴症 睡眠関連幻覚. *日本臨床* 66 増(2): 373-376, 2008
- 40) 稲見康司, 山下英尚, 水野創一, 新野秀人, 堀口淳: 睡眠関連運動障害群 (Sleep Related Movement Disorders) むずむず脚症候群, 周期性四肢運動障害. *日本臨床* 66 増(2): 382-387, 2008
- 41) Miyaoka T, Furuya M, Yasuda H, Hayashida M, Nishida A, Inagaki T, Horiguchi J: Yi-gan san for the treatment of neuroleptic-induced tardive dyskinesia: An open-label study. *Progress in Neuro-Psychopharmacology & Biological Psychiatry* 32(3): 761-764, 2008
- 42) Shinno H, Inami Y, Inagaki T, Nakamura Y, Horiguchi J: Effect of Yi-Gan San on psychiatric symptoms and sleep structure at patients with behavioral and psychological symptoms of dementia. *Progress in Neuro-Psychopharmacology & Biological Psychiatry* 32:881-885, 2008
- 43) 堀口淳, 田村達辞, 日域広昭, 倉田健一, 倉田明子, 辻誠一, 山下英尚: (特集/高齢者認知症の知識と理解 診断・鑑別診断) 高齢者のうつと認知症の症候学的鑑別. *臨床と研究* 85(4): 493-496, 2008
- 44) 長濱道治, 古屋智英, 宮岡剛, 西田朗, 稲垣卓司, 堀口淳: シチコリンの投与でパーキンソニズムを伴ううつ状態が軽快した躁うつ病の 1 症例. *精神科* 12(4): 342-346, 2008
- 45) 西田朗, 長濱道治, 河野公範, 家田麻紗, 堀口淳: (特集/高齢者のうつ病とその周辺) うつ病がリスクファクターとなる身体疾患 No Health without Mental Health . *老年精神医学雑誌* 19(4): 409-413, 2008
- 46) 堀口淳, 妹尾晴夫: 高齢者の不安障害. *臨床精神医学* 37(5): 607-612, 2008
- 47) 堀口淳: 高齢者の不安障害. *老年精神医学雑誌* 19(5): 520-525, 2008
- 48) 河野公範, 岡崎四方, 西田朗, 宮岡剛, 稲垣卓司, 堀口淳: パロキセチンが奏効した軽度抑うつ状態を伴った閉塞型睡眠時無呼吸低呼吸症候群の 1 例. *心療内科* 12(3): 211-214, 2008
- 49) Inagaki T, Furuya M, Kawamukai T, Okazaki S, Yasuda H, Hayashida M, Miyaoka T, Nishida A, Horiguchi J: Prediction of Response Within the First 3 Days to

- Treatment With Paroxetine for Depression. Prim Care Companion J Clin Psychiatry 10(2): 129-132, 2008
- 50) 稲垣卓司: (第 部 臓器別のアプローチ 中枢神経系)2 認知機能: 長谷川式スケール. 臨床透析 24(7): 842-843, 2008
 - 51) 堀口淳, 宮岡剛, 川向哲也, 岡崎四方, 古屋智英, 妹尾晴夫, 柴田昌洋, 糸賀基, 國重和彦, 佐藤勝: 高コレステロール血症を合併する精神疾患患者に対するピタバスタチンカルシウム(リバロ錠)のコレステロール低下作用に関する多施設共同研究. セラピューティック・リサーチ 29(8): 1407-1410, 2008
 - 52) 稲見康司, 新野秀人, 堀口淳: 高齢者の睡眠障害. 最新医学 別冊(新しい診断と治療の ABC 56 / 精神 5): 153-159, 2008
 - 53) Shinno H, Kamei M, Inami Y, Horiguchi J, Nakamura Y: Successful treatment with Yi-Gan San for rapid eye movement sleep behavior disorder. Progress in Neuro-Psychopharmacology & Biological Psychiatry 32: 1749-1751, 2008
 - 54) 西田朗, 岡崎四方, 土江景子, 林田麻衣子, 宇谷悦子, 川向哲也, 安田英彰, 宮岡剛, 稲垣卓司, 堀口淳: 喫煙者へのインターネットによる追跡調査. 日本医事新報 4402: 70-75, 2008
 - 55) Miyaoka T, Yasukawa R, Yasuda H, Hayashida M, Inagaki T, Horiguchi J: Minocycline as Adjunctive Therapy for Schizophrenia: An Open-Label Study. Clinical Neuropharmacology. 31(5):287-292, 2008
 - 56) 堀口淳: 脳器質性疾患と統合失調症の幻覚(妄想)の発現機序と症候学. メディカル朝日 37(10): 54-55, 2008
 - 57) 宮岡剛: 統合失調症の病因と病態におけるビリルビン代謝異常の関与. 精神医学 50(10): 942-948, 2008
 - 58) Miyaoka T: Clinical potential of Minocycline for Schizophrenia. CNS & Neurological Disorders- Drug Targets 7(4): 376-386
 - 59) 堀口淳: 抑肝散が治療抵抗性の統合失調症に有効 過食衝動やリストカットの治療にも期待. 日経メディカル 別冊: 32-33, 2008
 - 60) Miyaoka T, Wake R, Hayashida M, Horiguchi J: Schizophrenia and Idiopathic Unconjugated Hyperbilirubinemia (Gilbert's Syndrome). Central Nervous System Agents in Medicinal Chemistry 8(4): 257-259, 2008

学会発表

- 1) 堀口淳: 抑肝散の臨床応用に関する診療経験. 出雲臨床漢方研究会. 出雲, 2007年1月23日
- 2) 稲垣卓司: 思春期の心. 平成18年度第4回出雲地域精神保健福祉協議会研修会. 出雲, 2007年2月15日

- 3) 宮岡剛: ペロスピロンの短期投与における臨床効果および薬原性錐体外路症状の特徴についての検討. 第7回SDA研究会. 松江, 2007年2月17日
- 4) Miyaoka T: Schizophrenia and idiopathic unconjugated hyperbilirubinemia (Gilbert's syndrome). 第2回日本統合失調症学会ワークショップ. 富山, 2007年3月24日-25日
- 5) 堀口淳: 精神科臨床における睡眠障害の診断と治療. 第3回不安と抑うつ研究会. 郡山, 2007年4月7日
- 6) 堀口淳: 認知症の周辺症状に対する最近の知見～幻覚・妄想に対する治療戦略を中心に～. ツムラ学術講演会. 米子, 2007年4月19日
- 7) 堀口淳: 抗精神薬によるEPSと治療. 第3回精神薬理学・千鳥ヶ丘研究会. 東京, 2007年4月20日
- 8) 堀口淳: 認知症の周辺症状に対する最近の知見. ツムラ学術講演会. 広島, 2007年4月26日
- 9) 西田朗: うつ病の治療選択について-治療の現状と今後-. 島根県精神科医懇話会. 出雲, 2007年5月12日
- 10) 稲垣卓司: 歯科領域における慢性疼痛とその治療. 平成19年度一般臨床ミニ講座. 松江, 2007年5月13日
- 11) 堀口淳: 睡眠障害. 第103回日本精神神経学会総会(特別講座講演). 高知, 2007年5月17日-19日
- 12) 堀口淳: 周期性四肢運動障害は睡眠障害である!～見逃してはならない脚のピクツキと悪い寝相～. 第103回日本精神神経学会総会(シンポジウム講演). 高知, 2007年5月17日-19日
- 13) 岡崎四方: 身体症状と精神症状の鑑別が困難であった一症例. 第4回島根緩和ケア研究会, 出雲, 2007年5月19日
- 14) 堀口淳: 認知症の周辺症状に対する最近の知見～幻覚・妄想に対する治療戦略を中心に～. ツムラ学術講演会. 岡山, 2007年5月24日
- 15) 堀口淳: 統合失調症について. 中枢神経系疾患に関する勉強会. 出雲, 2007年5月25日
- 16) 古屋智英: 統合失調症を合併した精神遅滞の精神症状にパロキセチンが奏効した2症例. 第5回山陰精神科診療内科研究会. 松江, 2007年5月26日
- 17) 稲垣卓司: 思春期の心について. 平成19年度健康相談事業(心と性の健康相談)講演会. 出雲, 2007年6月6日
- 18) 安田英彰, 宮岡剛, 堀口淳, 山本義春: 触覚性瞬目反射を用いた確率共振現象の検証. 第34回日本脳科学学会. 出雲, 2007年6月8日-9日
- 19) 稲垣卓司: 思春期にかかえる問題と親の関わり. 出雲ほほえみの会研修会. 出雲, 2007年6月9日

- 20) 堀口淳: 認知症の周辺症状に対する最近の知見～幻覚・妄想に対する治療戦略を中心に～. ツムラ学術講演会. 倉吉, 2007年6月14日
- 21) 西田朗: 厚生労働省がん研究助成金総合研究 14-1 「がん情報ネットワークを利用した総合的がん対策支援の具体的方法に関する研究」(班長 若尾文彦) 分担研究課題 「がん情報のコンテンツ開発とその利用に関する研究」平成19年度第1回班会議. 東京, 2007年6月25日
- 22) 堀口淳: 認知症の周辺症状に対する最近の知見～幻覚・妄想に対する治療戦略を中心に～. ツムラ学術講演会. 山口, 2007年6月28日
- 23) 堀口淳: 睡眠覚醒障害の臨床. 金沢医科大学大学院医学研究セミナー. 内灘, 2007年7月3日
- 24) 稲垣卓司: 島根大学精神科思春期外来状況について. 第2回島根大学思春期臨床セミナー. 出雲, 2007年7月5日
- 25) 西田朗: うつを知り、うつを治す. 斐川町老人クラブリーダー総会. 斐川, 平成19年7月11日
- 26) Tsuyoshi Miyaoka, Rei Yasukawa, Hideaki Yasuda, Maiko Hayashida, Takuji Inagaki, Jun Horiguchi: Minocycline as adjunctive therapy for schizophrenia: an open-label study. 第29回日本生物学的精神医学会. 札幌, 2007年7月11日-13日
- 27) 古屋智英: 症例呈示: 精神科領域における漢方薬使用例. 第1回島根漢方診療教育研究会. 出雲, 2007年7月13日
- 28) 堀口淳: 認知症について. 海星病院看護職員研修. 出雲, 2007年7月14日
- 29) 堀口淳: 日常臨床で遭遇する睡眠障害とその治療. ジェイゾロフト発売一周年記念学術講演会. 宮崎, 2007年7月20日
- 30) 河野公範, 宮岡剛, 新野秀人, 稲垣卓司, 堀口淳: 高照度光療法が開始早期より著効した9歳発症の Non-24-hour sleep-wake syndrome の1例. 第55回山陰精神神経学会. 米子, 2007年7月21日
- 31) 長濱道治, 古屋智英, 宮岡剛, 西田朗, 稲垣卓司, 堀口淳: 茯苓飲合半夏厚朴湯の追加投与により心氣的訴えが急速に改善した老年期うつ病の1症例. 第55回山陰精神神経学会. 米子, 2007年7月21日
- 32) 西田朗: S S R Iをどのように使うべきか、適切な使用方法に関して. 第2回「不安・抑うつ精神科ネットワーク」山陰地区講演会. 米子, 2007年8月4日
- 33) 長濱道治: 症例呈示; せん妄患者の治療、看護について(その1). 第1回院内リエゾン精神医学30分勉強会(島根大学医学部附属病院). 出雲, 2007年8月21日
- 34) 西田朗: 一般診療科でよくみるうつ病 診断と治療のポイント . 雲南医師

- 会（仁多ブロック）学術講演会. 出雲, 2007年8月22日
- 35) 堀口淳: 眠れないあなたのために. あさひクリニック公開講座. 出雲, 2007年9月8日
- 36) Yasuda H, Miyaoka T, Horiguchi J, and Yamamoto Y: Central Cross-Modal Stochastic Resonance in the Human Tactile Blink Reflex. 19th International Conference on NOISE AND FLUCTUATIONS September 9-14, 2007 Tokyo, Japan
- 37) 宮岡剛: 統合失調症治療における塩酸ミノサイクリンの有用性. 浜松医科大学精神神経医学教室講演会. 浜松, 2007年9月10日
- 38) 堀口淳: うつ病の薬物治療について. グラクソ・スミスクライン社内研修会. 出雲, 2007年9月13日
- 39) Yasuda H: Novel class of neural stochastic resonance. BioStatPhys in UT '07. September 14, 2007 Tokyo, Japan
- 40) 宮岡剛: Aripiprazole の使用経験. 広島市精神科医会講演会. 広島, 2007年9月25日
- 41) 長濱道治: 症例呈示; せん妄患者の治療、看護について(その2) ~ アルコール離脱による ~. 第2回院内リエゾン精神医学30分勉強会(島根大学医学部附属病院). 出雲, 2007年9月25日
- 42) 稲垣卓司: 単科精神病院における癌を合併する統合失調症患者状況について. 島根県精神科医懇話会9月例会. 出雲. 2007年9月29日
- 43) 西田朗: うつ病. 心の健康教室. 出雲, 2007年10月3日
- 44) 宮岡剛, 古屋智英, 安田英彰, 林田麻衣子, 稲垣卓司, 堀口淳: Yi-gan san for the treatment of borderline personality disorder: an open-label study. 第17回日本臨床精神神経薬理学会. 大阪, 2007年10月3日-5日
- 45) 古屋智英, 宮岡剛, 國重和彦, 堀口淳: 抑肝散の増強療法の奏効した統合失調症の一例. 第17回日本臨床精神神経薬理学会. 大阪, 2007年10月3日-5日
- 46) 堀口淳: 抗精神病薬と錐体外路 ~ 睡眠障害の臨床 ~. 第29回和歌山精神医学懇話会. 和歌山, 2007年10月6日
- 47) 稲垣卓司: 管理監督者のためのメンタルヘルス ~ 部下からの相談の受け方 ~ 講義1「心身症」, 講義2「うつ病」, 講義3「面接のコツ」. 第19回中国地区課長補佐研修. 広島, 2007年10月18日
- 48) 長濱道治, 宮岡剛, 堀口淳: 初発使用経験と陰性症状改善例2例の報告. ドパミン・システム・スタビライザーセミナー-in 出雲. 出雲, 2007年10月20日
- 49) 渡邊久美, 岡田あゆみ, 岡部伸幸, 萩田聡子, 太田順一郎, 稲垣卓司, 森島恒

- 雄: 小児期および思春期発症摂食障害患者の家族におけるニーズ調査. 第 3 回日本摂食障害学会. 京都, 2007 年 10 月 20 日-21 日
- 50) 波多野玲奈: おもちゃを取り戻したいと願う 20 歳女性との面接過程 この世に降り立つ場所としての森という視点から . 日本箱庭療法学会第 21 回大会. 長崎, 2007 年 10 月 20 日-21 日
- 51) 堀口淳: 睡眠覚醒障害の日常臨床. 第 9 回福岡睡眠研究会. 福岡, 2007 年 10 月 23 日
- 52) 稲垣卓司, 和気玲, 斎藤千都香, 堀口淳: 異性装を呈した思春期女子例. 第 48 回日本児童青年精神医学会総会. 盛岡. 2007 年 10 月 30 日-11 月 1 日
- 53) 吉川陽子, 岸和子, 山口清次, 稲垣卓司, 波多野玲奈, 大野貴子: 遊戯療法と家庭環境調整で改善した転換性障害の 1 例. 第 48 回日本児童青年精神医学会総会. 盛岡, 2007 年 10 月 30 日-11 月 1 日
- 54) Miyaoka T, Furuya M, Yasuda H, Hayashida M, Nishida A, Inagaki T, Horiguchi J: Yi-gan san for the treatment of neuroleptic-induced tardive dyskinesia: An open-label study. 7th Annual Meeting of the International College of Geriatric Psychoneuropharmacology. La Jolla, San Diego, California, USA, October 30-November 2, 2007
- 55) Furuya M, Miyaoka T, Hayashida M, Okazaki S, Yasuda H, Nishida A, Inagaki T, Horiguchi J: Successful combination therapy of Yokukansann and Hochuekkito for geriatric psychosis: Case reports. 7th Annual Meeting of the International College of Geriatric Psychoneuropharmacology. La Jolla, San Diego, California, USA, October 30- November 2, 2007
- 56) 西田朗: 厚生労働省がん研究助成金総合研究 14-1 「がん情報ネットワークを利用した総合的がん対策支援の具体的方法に関する研究」(班長 若尾文彦) 分担研究課題「がん情報のコンテンツ開発とその利用に関する研究」. 平成 19 年度第 2 回班会議 東京, 2007 年 11 月 6 日
- 57) 河野公範, 西田朗, 宮岡剛, 稲垣卓司, 堀口淳: 高照度光療法が開始早期より著効した 9 歳発症の Non-24-hour sleep-wake syndrome の 1 例. 日本睡眠学会第 32 回定期学術集会. 東京, 2007 年 11 月 7 日-9 日
- 58) 長濱道治, 古屋智英, 宮岡剛, 西田朗, 稲垣卓司, 堀口淳: シチコリン投与により急速にうつ状態が改善した橋本病を合併する躁うつ病の 1 症例. 第 48 回中国・四国精神神経学会. 広島, 2007 年 11 月 15 日-16 日
- 59) 新野秀人, 中村祐, 稲見康司, 宇谷悦子, 川向哲也, 安田英彰, 稲垣卓司, 堀口淳: 抑肝散が精神症状, 不眠, 睡眠時ミオクローヌスに有効だったレビー小体病の 1 例. 第 48 回中国・四国精神神経学会. 広島, 2007 年 11 月 15 日-16 日

- 60) 渡邊克俊, 江藤剛, 三原記子, 堀口淳: 精神科集中治療病棟の禁煙化の現状と課題. 第 31 回中国・四国精神保健学会. 広島, 2007 年 11 月 15 日 - 16 日
- 61) 河野公範, 岡崎四方, 西田朗, 宮岡剛, 稲垣卓司, 堀口淳: パロキセチンが奏効した、軽度抑うつ状態を伴った閉塞性睡眠時無呼吸症候群の一例. 第 31 回日本心身医学会中国・四国地方会. 広島, 2007 年 11 月 17 日
- 62) 堀口淳: 抗精神病薬と錐体外路～睡眠障害の臨床～. 藤田保健衛生大学精神医学教室学術講演会. 名古屋, 2007 年 11 月 17 日
- 63) 堀口淳: 認知症の介護について. 江津市在宅介護支援センター家族介護教室. 江津市, 2007 年 11 月 20 日
- 64) 稲垣卓司: がん患者の精神症状とその対応. がん専門薬剤師研修事業研修会. 出雲, 2007 年 11 月 22 日
- 65) 堀口淳: 高齢者の睡眠. 睡眠指導士養成講座中級. 大津, 2007 年 11 月 25 日
- 66) 堀口淳: 不眠と QOL 臨床睡眠学の観点から . 第 20 回日本サイコオンコロジー学会・第 20 回日本総合病院精神医学会総会 (ランチョンセミナー). 札幌, 2007 年 11 月 30 日
- 67) 稲垣卓司, 安田英彰, 岡崎四方, 宮岡剛, 堀口淳: 小児科病棟における摂食障害患者へのコンサルテーション・リエゾン活動について. 第 20 回日本総合病院精神医学会総会. 札幌, 2007 年 11 月 30 日-12 月 1 日
- 68) 岡崎四方, 安田英彰, 宮岡剛, 稲垣卓司, 堀口淳: 島根大学医学部附属病院緩和ケアチームにおける精神科医の関わりについて. 第 20 回日本総合病院精神医学会総会. 札幌, 2007 年 11 月 30 日-12 月 1 日
- 69) 堀口淳: 抗精神病薬誘発性錐体外路症状と睡眠障害～日常の診療活動から～. 脳神経センター大田記念病院オープンカンファレンス第 14 回福山睡眠研究会. 福山, 2007 年 12 月 4 日
- 70) 岡崎四方: 心の病気について. 平成 19 年度精神保健福祉ボランティア講習会. 出雲, 2007 年 12 月 4 日
- 71) 堀口淳: 各種の精神疾患に関する最近の治療経験. ツムラ学術講演会. 米子, 2007 年 12 月 7 日
- 72) 堀口淳: 眠れないあなたのために～睡眠と健康を考える～. 健康まつえ 21 健康講座. (松江市役所健康福祉部). 松江, 2008.1.19
- 73) 堀口淳: 眠れないあなたのために. 2008 生涯学習フェア in 松江. 松江, 2008 年 1 月 27 日
- 74) 堀口淳: 各種の精神疾患に関する最近の治療経験. ツムラ学術講演会. 郡山, 2008 年 1 月 29 日
- 75) 西田朗: うつ病の理解とその対応について. 平成 19 年度 自殺予防のためのうつ病対策研修会. 雲南, 2008 年 1 月 30 日

- 76) 稲垣卓司: 子どもの発達と保護者・地域の関わり方. 雲南市立久野小学校・久野幼稚園 PTA 合同研修会. 雲南, 2008 年 2 月 2 日
- 77) 堀口淳: シンポジウム 1 : うつ病の実態と臨床 (総論). 第 8 回島根心身医療研究会. 出雲, 2008 年 2 月 8 日
- 78) 堀口淳: 精神疾患 ~ 特に認知症に対する最近の治療経験 ~. 第 11 回南予和漢薬会. 大洲, 2008 年 2 月 13 日
- 79) 堀口淳: 幻覚に関する 2~3 の考察 ~ 自験例を通じて ~. 第 5 回睡眠学研究会. 名古屋, 2008 年 2 月 16 日
- 80) 河野公範: 症例呈示; せん妄患者の治療、看護について (その 3) ~ 認知症による ~. 第 3 回院内リエゾン精神医学 30 分勉強会 (島根大学医学部附属病院). 出雲, 2008 年 2 月 21 日
- 81) 宮岡剛: ペロスピロンの長期投与における臨床効果および薬原性錐体外路症状の特徴についての検討. 第 8 回 SDA 研究会. 岡山, 2008 年 2 月 23 日
- 82) 堀口淳: プライマリで遭遇する事の多い精神疾患に対する最近の治療経験 抑肝散で認知症の周辺症状を中心として . 京都府医師会学術講演会. 京都, 2008 年 3 月 1 日
- 83) 堀口淳: 眠れないあなたのために. 地域精神保健研修会. 広島, 2008 年 3 月 12 日
- 84) Tsuyoshi Miyaoka, Motohide Furuya, Hideaki Yasuda, Maiko Hayashida, Akira Nishida, Takuji Inagaki, Jun Horiguchi: Yi-Gan San as Adjunctive Therapy for Treatment-resistant Schizophrenia: An Open-Label Study. 第 3 回日本統合失調症学会. 東京, 2008 年 3 月 14-15 日
- 85) 和氣玲, 宮岡剛, 安田英彰, 林田麻衣子, 西田朗, 稲垣卓司, 堀口淳: 特発性非抱合型高ビリルビン血症 77 (Gilbert 症候群) を合併する統合失調症における頭部 MRI 研究. 第 3 回日本統合失調症学会. 東京, 2008 年 3 月 14 日-15 日
- 86) 堀口淳: 各種の精神疾患に関する最近の治療経験. 認知症学術講演会. 益田, 2008 年 3 月 18 日
- 87) 川向哲也: 母親のこころの健康について. 平成 19 年度こころの健康講演会 (第 2 回ほっとフル講演会). 大田, 2008 年 3 月 18 日
- 88) 堀口淳: 日常診療で遭遇する精神疾患に対する薬物治療の豆知識 ~ 認知症、せん妄、不眠など ~. 宇和島医師会学術講演会. 宇和島, 2008 年 5 月 16 日
- 89) 堀口淳: 抗精神病薬について. 宇和島病院研修会. 宇和島, 2008 年 5 月 17 日
- 90) 堀口淳: 眠れないあなたのために ~ 不安やうつを予防しよう、乗り越えよう ~. 心の健康づくり講演会. 宇和島, 2008 年 5 月 17 日
- 91) 堀口淳: 日常診療で遭遇する精神疾患に対する薬物治療の豆知識 ~ 認知症、せん妄、不眠など ~. 奄美地区漢方学術講演会. 奄美, 2008 年 5 月 23 日

- 92) 和氣玲, 宮岡剛, 安田英彰, 林田麻衣子, 西田朗, 稲垣卓司, 堀口淳: 特発性非抱合型高ビリルビン血症 (Gilbert 症候群) を合併する統合失調症の頭部 MRI 研究. 第 104 回日本精神神経学会学術総会. 東京, 2008 年 5 月 29 日-31 日
- 93) 堀口淳: 認知症の早期診断とケアについて. 第 41 回石見神経懇話会. 浜田, 2008 年 6 月 4 日
- 94) Maiko Hayashida, Tsuyoshi Miyaoka, Keiko Tsuchie, Jun Horiguchi: Hyperbilirubinemia induced behavioral and neuropathological changes in rats: possibility of schizophrenia animal model. 第 35 回日本脳科学会. 東京, 2008 年 6 月 13 日-14 日
- 95) 堀口淳: 日常診療で遭遇する精神疾患に対する薬物治療の豆知識 ~ 認知症、せん妄、不眠など ~. 漢方学術講演会. 徳島, 2008 年 6 月 20 日
- 96) 稲垣卓司, 和氣玲: 長期に精神的関与が必要だった小児慢性腎不全の 1 例. 第 99 回日本小児精神神経学会. 米子. 2008 年 6 月 13 日-14 日
- 97) 堀口淳: 不眠症-眠れないあなたのために-. 第 23 回日本老年精神医学会市民公開講座. 神戸, 2008 年 6 月 26 日
- 98) 堀口淳: 精神・神経科領域における抑肝散の臨床応用 ~ 統合失調症、境界性パーソナリティ障害、ジスキネジアに対する治療成績 ~. 第 23 回日本老年精神医学会ランチョンセミナー. 神戸, 2008 年 6 月 27 日
- 99) 堀口淳: 脳器質疾患と統合失調症の幻覚 (妄想) の発現機序と症候学. 第 23 回日本老年精神医学会. 神戸, 2008 年 6 月 27 日-28 日
- 100) 長濱道治, 河野公範, 宇谷悦子, 川向哲也, 安田英彰, 岡崎四方, 宮岡剛, 西田朗, 稲垣卓司, 堀口淳: 抑肝散の追加投与により幻視が消失したシャルル・ボネ症候群の 1 症例. 第 23 回日本老年精神医学会. 神戸, 2008 年 6 月 27 日-28 日
- 101) 稲垣卓司: 親と子の関わりについて. 思春期の心の悩みを考える親の集い. 広島, 2008 年 6 月 29 日
- 102) 稲垣卓司: 児童生徒のメンタルヘルスと健康相談 ~ 医療現場から見た子どもたちは今 ~. 平成 20 年度養護教諭研修. 出雲, 2008 年 7 月 1 日
- 103) 宮岡剛: 境界型人格障害の抑肝散治療. 第 2 回漢方診療教育研究会. 出雲, 2008 年 7 月 4 日
- 104) 和氣玲: 統合失調症の発症脆弱性としての体質黄疸. 第 56 回山陰精神神経学会ランチョンセミナー. 出雲, 2008 年 7 月 13 日
- 105) 岡崎四方, 山下智子, 家田麻紗, 長濱道治, 河野公範, 宇谷悦子, 川向哲也, 安田英彰, 宮岡剛, 西田朗, 稲垣卓司, 堀口淳: 島根大学医学部附属病院における身体合併症治療の状況. 第 56 回山陰精神神経学会. 出雲, 2008 年 7

月 13 日

- 106) 長濱道治, 河野公範, 宇谷悦子, 川向哲也, 安田英彰, 岡崎四方, 宮岡剛, 西田朗, 稲垣卓司, 堀口淳: 抑肝散の追加投与により幻視が消失したシャルル・ボネ症候群の 1 症例. 第 56 回山陰精神神経学会. 出雲, 2008 年 7 月 13 日
- 107) 家田麻紗, 川向哲也, 宮岡剛, 西田朗, 稲垣卓司, 堀口淳: Risperidone により症状改善を認めたステロイド精神病の 1 例. 第 56 回山陰精神神経学会. 出雲, 2008 年 7 月 13 日
- 108) 山下智子, 安田英彰, 宮岡剛, 西田朗, 稲垣卓司, 堀口淳: 抗てんかん薬の調整によって精神症状が改善したてんかん精神病の一例. 第 56 回山陰精神神経学会. 出雲, 2008 年 7 月 13 日
- 109) 安田英彰: メンタルヘルス対策. 島根県医師会産業医基礎研修会. 松江, 2008 年 7 月 13 日
- 110) 稲垣卓司: 思春期の子どもたちへの対応について. 平成 20 年度健康相談事業(心と性の健康相談)に係る教職員研修会. 松江養護学校. 松江, 2008 年 7 月 23 日
- 111) 堀口淳: 日常診療で遭遇する精神疾患に対する薬物治療の豆知識~認知症、せん妄、不眠など~. 吉南三師会学術講演会. 山口, 2008 年 8 月 1 日
- 112) 堀口淳: 職場のメンタルヘルス うつと不眠の今 . 平成 20 年度島根県メンタルヘルスケア研修会. 出雲, 2008 年 8 月 28 日
- 113) 堀口淳: 日常診療で遭遇する精神疾患に対する薬物治療の豆知識~認知症、せん妄、不眠など~. 今治漢方学術講演会. 今治, 2008 年 8 月 29 日
- 114) Tsuyoshi Miyaoka, Motohide Furuya, Hideaki Yasuda, Maiko Hayashida, Akira Nishida, Takuji Inagaki, Jun Horiguchi: Yi-Gan San as adjunctive therapy for treatment-resistant schizophrenia: An open-label study. ICGP2008. Sydney Australia, September3-6, 2008
- 115) Keiko Tsuchie, Tsuyoshi Miyaoka, Michiharu Nagahama, Maiko Hayashida, Akira Nishida, Takuji Inagaki, Jun Horiguchi: Charles Bonnet Syndrome: successful treatment of visual hallucinations due to vision loss with Yi-gan san. ICGP2008. Sydney Australia. September3-6, 2008
- 116) 稲垣卓司: 精神科思春期外来にみる子どもの心とからだ. 第 2 回山陰小児心身症懇話会. 松江, 2008 年 9 月 7 日
- 117) 宮岡剛: 各種精神・神経疾患に対する臨床応用. 中国地区 EBM 漢方フォーラム. 広島, 2008 年 9 月 20 日
- 118) 稲垣卓司: がん患者さんに起こりやすい心の変化. 第 2 回緩和ケア研修会. 出雲, 2008 年 9 月 25 日
- 119) 堀口淳: ビデオと写真で診る EPS. 島根県精神科医懇話会 9 月例会. 出雲,

2008年9月27日

- 120) Maiko Hayashida, Tsuyoshi Miyaoka, Keiko Tsuchie, Rei Yasukawa, Akira Nishita, Takuji Inagaki, Tomoko Toga, Haruhiko Nagami, Teiji Oda, Jun Horiguchi: The rat hyperbilirubinemia may be a useful animal model for schizophrenia. 第18回日本臨床精神神経薬理学会. 東京, 2008年10月1日-3日
- 121) 安田英彰: うつとストレス. 平成20年度産業医学研修会. 出雲, 2008年10月2日
- 122) 河野公範: 手術前夜の不眠に対して処方された zolpidem により、せん妄が引き起こされたと考えられた一例. 第3回中四国睡眠医療研究会. 広島, 2008年10月4日
- 123) 和氣玲, 宮岡剛, 西田朗, 稲垣卓司, 堀口淳, 山本泰司, 林貴史, 北垣一: 統合失調症における脳血流 SPECT の研究 統計学的画像解析法の利用 . 第28回日本精神科診断学会. 札幌, 2008年10月10日-11日
- 124) 堀口淳: ビデオと写真とで診る錐体外路症状～精神科薬物療法のちょっとした知識とコツ～. 第28回日本精神科診断学会モーニングセミナー. 札幌, 2008年10月10日-11日
- 125) 堀口淳: 日常診療で遭遇する精神疾患に対する薬物治療の豆知識～認知症、せん妄、不眠など～. ツムラ学術講演会. 下関, 2008年10月23日
- 126) 堀口淳: 眠れないあなたのために～ストレスやがんを乗り越えよう!～. 第10回神在月シンポジウム2008. 出雲, 2008年10月25日
- 127) 堀口淳: 日常診療で遭遇する精神疾患に対する薬物治療の豆知識～認知症、せん妄、不眠など～. 宮城精神科漢方学術講演会. 仙台, 2008年10月31日
- 128) 安田英彰: うつとストレス. 平成20年度産業医学研修会. 松江, 2008年11月6日
- 129) 堀口淳: 日常診療で遭遇する精神疾患に対する薬物治療の豆知識～認知症、せん妄、不眠など～. 福精協筑後ブロック学術講演会. 久留米, 2008年11月14日
- 130) 堀口淳: 「日常診療で遭遇する精神疾患に対する薬物治療の豆知識」～認知症、せん妄、不眠など～. 和歌山市医師会学術講演会. 和歌山, 2008年11月15日
- 131) 堀口淳: 眠れないあなたのために. 産業保健研修会. 福山, 2008年11月18日
- 132) 和氣玲, 宮岡剛, 土江景子, 西田朗, 稲垣卓司, 堀口淳, 山本泰司, 林貴史, 北垣一: 統合失調症における SPECT 研究～eZIS(easy Z-score imaging system)による解析. 第49回中国・四国精神神経学会. 徳島, 2008年11月21日

日-22日

- 133) 家田麻紗, 宮岡剛, 西田朗, 稲垣卓司, 堀口淳: Olanzapine により衝動性亢進が改善した Huntington 病の 1 例. 第 49 回中国・四国精神神経学会. 徳島, 2008 年 11 月 21 日-22 日
- 134) 稲垣卓司: 小児科病棟におけるコンサルテーション・リエゾン精神医学. 第 21 回日本総合病院精神医学会総会. 千葉, 2008 年 11 月 28 日-29 日
- 135) 岡崎四方, 安田英彰, 宮岡剛, 稲垣卓司, 堀口淳: 当院におけるがんを合併する統合失調症患者の治療状況について. 第 21 回日本総合病院精神医学会総会. 千葉, 2008 年 11 月 28 日-29 日
- 136) 堀口淳: 日常診療で遭遇する精神疾患に対する薬物治療の豆知識. 学術講演会. 鹿児島, 2008 年 11 月 29 日
- 137) 宮岡剛: 統合失調症について. 心の健康教室. 出雲, 2008 年 12 月 1 日
- 138) 稲垣卓司: ストレスの理解と指導・支援について. 平成 20 年度健康相談事業 (心と性の健康相談) 校内研修会. 松江, 2008 年 12 月 4 日
- 139) 稲垣卓司: 思春期・青年期のこころ ~ 精神科思春期外来の現場より ~. 自分づくりの会講演会. 出雲, 2008 年 12 月 8 日